

長野県における総合防除の推進について

長野県農政部農業技術課環境農業係
企画幹兼係長 篠原 亘

長野県総合防除計画

○指定有害動植物157種のうち140種に対する

防除措置を盛り込み令和6年3月29日付けで策定

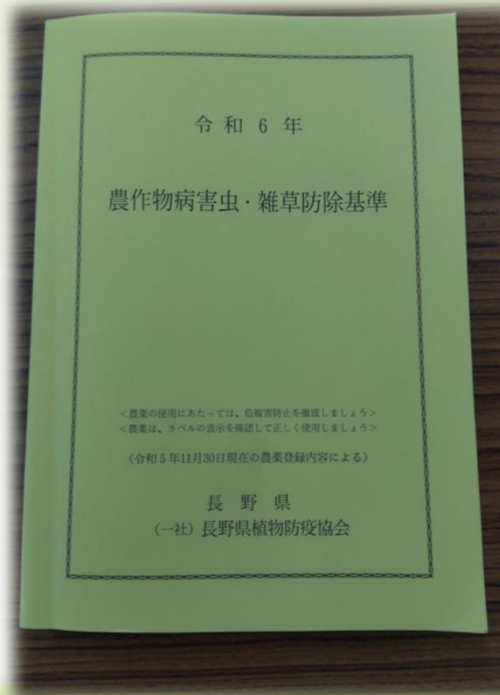
○遵守事項は、注意喚起体制がとれていること及び生産者自らが防除の必要性の理解が進んでいること、手段が整っていること等により、**現段階**では強制性を必要とするものは無いという考えにより定めていない

長野県総合防除計画



令和6年3月 長野県

長野県病害虫・雑草防除基準



○県総合防除計画に則り、総合防除の考えかたを踏まえた効果的な防除方法の基準を示し、農作物の安定生産と農薬の適正使用に資する大著。（661ページ）

○【掲載農薬】

「推奨農薬」⇒試験場での試験により普及技術となったもの

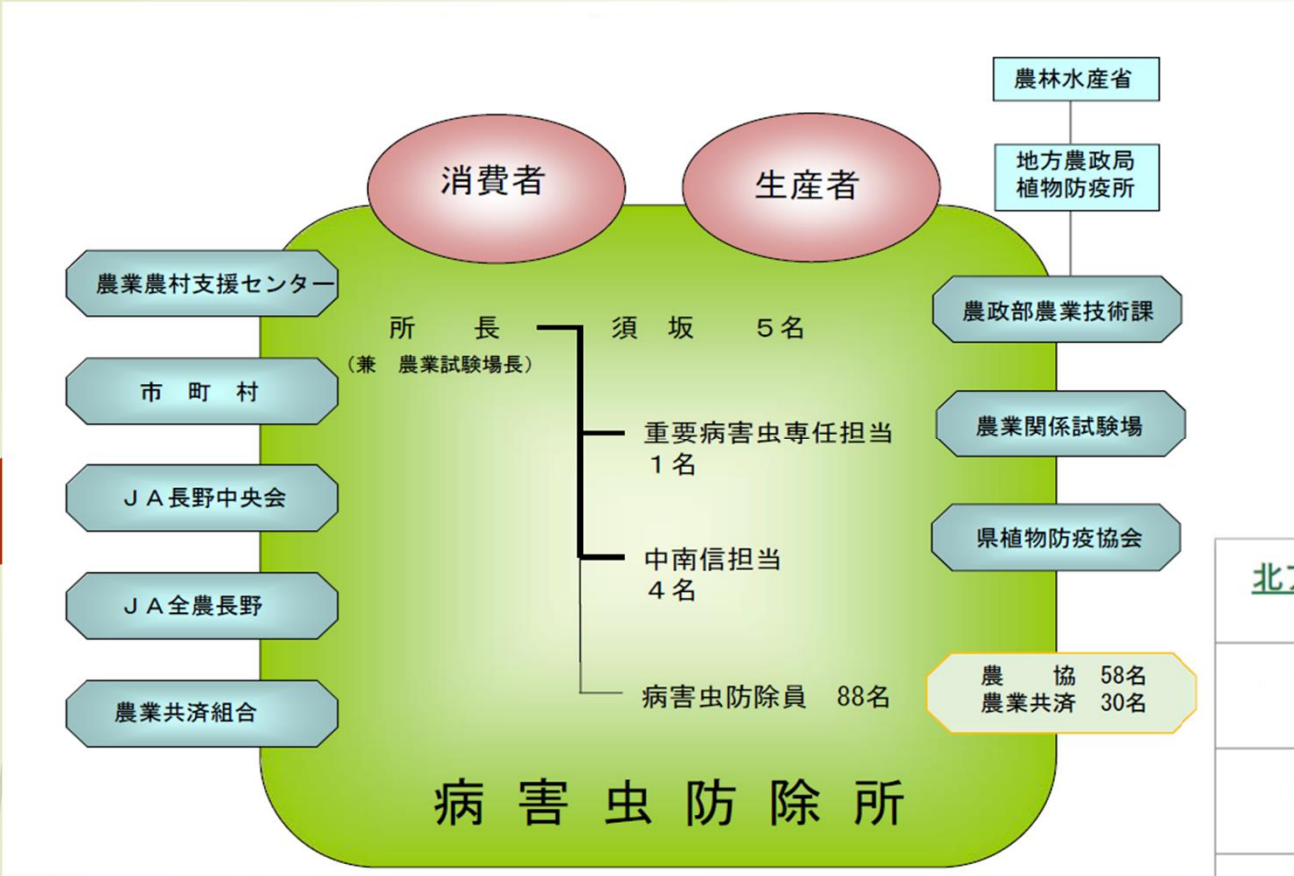
「参考農薬」⇒関係機関提案により試験場が効果的防除に寄与と判断したもの

○【考慮・選定事項】

「効果」「抵抗性病害虫・雑草の発生状況」「薬害」

「人畜蚕魚への影響」「周辺環境」

病虫害防除所と普及組織体制



区 分		ほ場数
試験場 病虫害 防除所	県予察ほ	11
	地区予察ほ	23
	防除適期決定ほ	8
	巡回調査ほ	215
	小 計	246
合 計		257



農業関係試験場



普及組織（農業農村支援センター）県下10広域

有害動植物のまん延リスクの高まり

令和6年度の特殊報
○ネギ類黒腐菌核病



○トマトキバガ



最近は他にも

タバココナジラミ (バイオタイプQ)



リンゴ黒星病 D M I 剤 Q o i 剤耐性菌



セルリー疫病



産雄単為生殖型ネギアザミウマ



検疫有害動植物対策

テンサイシストセンチュウ



総合防除による的確な防除の重要性の高まり

持続可能な農業との両立

第4期長野県食と農業農村振興計画（令和5年～令和9年）

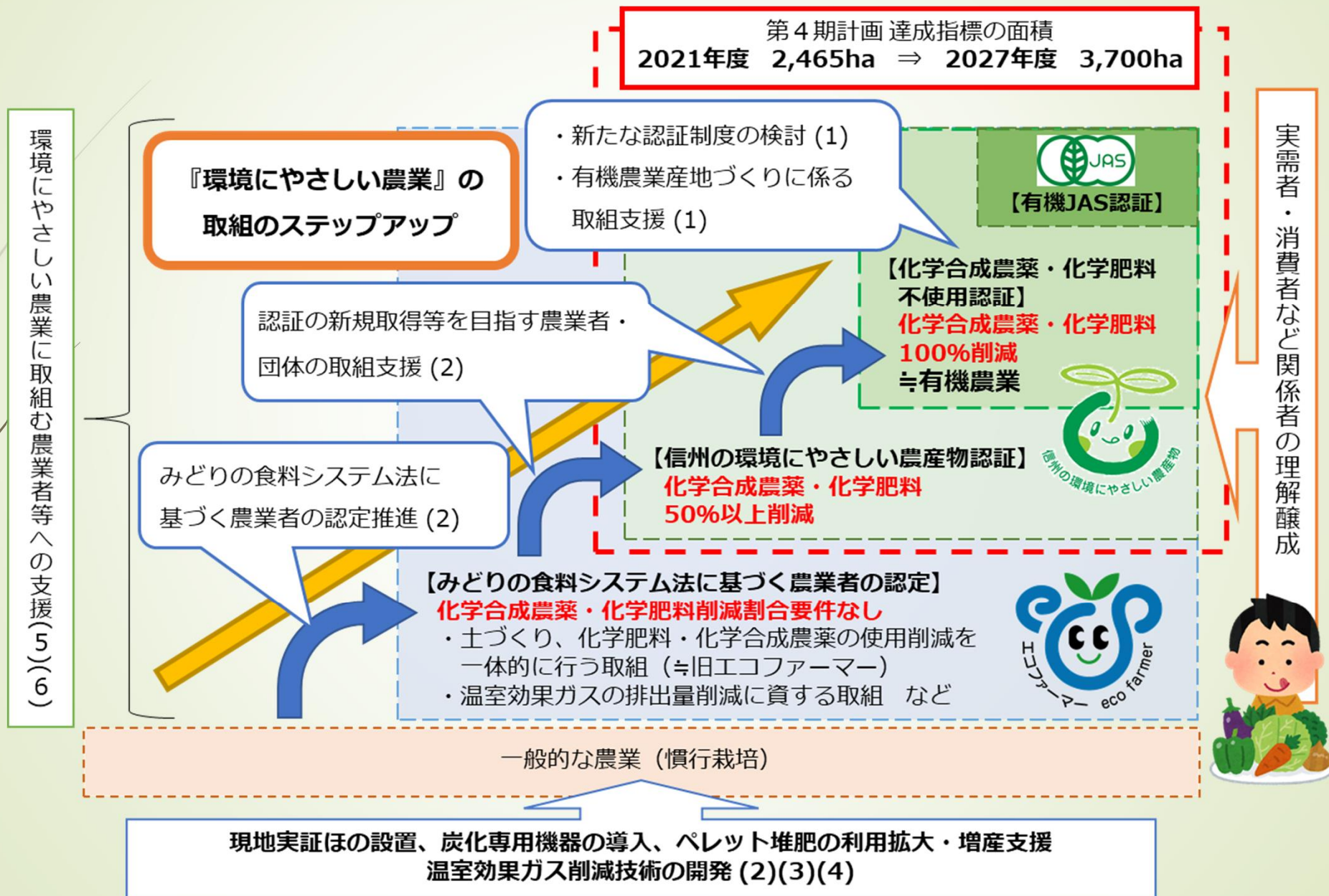
重点取組

- ①信州農業・農村を担う人材の確保・育成と農地の活用
- ②日本一を目指す果樹（りんご、ぶどう、なし、もも）の産地力向上
- ③環境にやさしい農業などの持続可能な農業の展開と消費者理解の促進

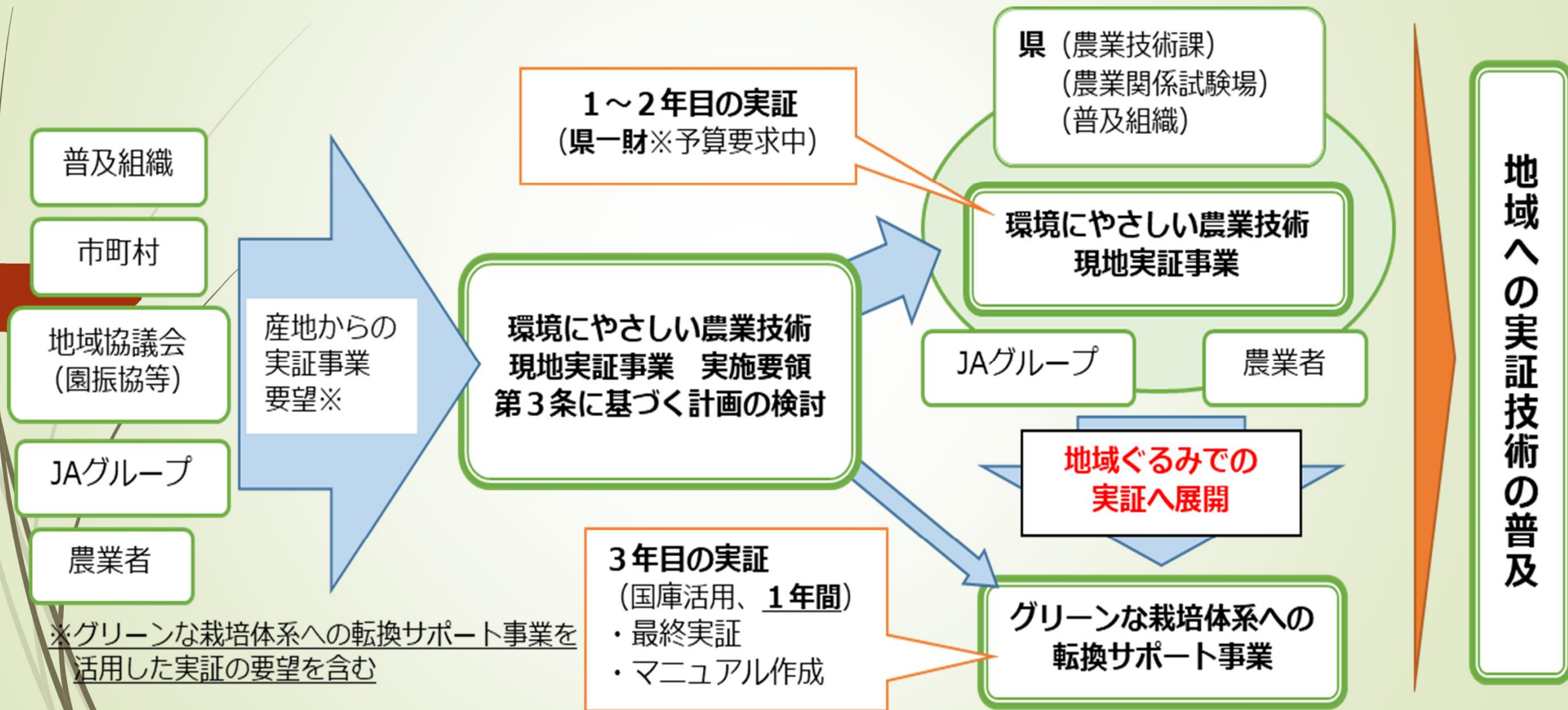
項目	2021年度	2027年度
化学肥料・農薬を50%以上削減栽培や有機農業に取り組む面積	2,456ha	3,700ha
オーガニックビレッジ宣言をした市町村数	—	10市町村
有機農業で生産された農産物を使用した給食実施の学校の割合（一品以上）	28%	40%

- ④信州農畜産物の輸出拡大

環境にやさしい持続可能な農業定着・拡大事業



環境にやさしい農業現地実証事業（県単） グリーンな栽培体系への転換サポート事業（国庫）



環境にやさしい農業現地実証事業（県単） グリーンな栽培体系への転換サポート事業（国庫）

環境にやさしい農業現地実証事業（県単）実績

年度	件数	うち病害虫防除技術関係の課題名
R 4	1	・ 半促成キュウリにおける天敵製剤と気門封鎖剤利用体系がハダニ類の密度抑制効果実証
R 5	3	・ ①夏秋いちごにおける天敵製剤利用防除体系のアザミウマ類の密度抑制効果実証 ・ ②アスパラガス（以下同様）
R 6	5	・ ①夏秋いちご、②アスパラガスにおける天敵製剤利用防除体系実証 ・ ③キャベツにおける交信かく乱剤利用による化学農薬削減と省力化実証 ・ ④半促成トマトにおける天敵製剤、防虫ネット、天敵温存植物など総合防除体系実証

グリーンな栽培体系への転換サポート事業（国庫）実績

年度	件数	うち病害虫防除技術関係の課題名
R 4	2	・ ジュース用トマトにおける交信かく乱剤の利用による化学農薬削減実証
R 5	3	・ レタス・キャベツにおける交信かく乱剤の利用による化学農薬削減と省力栽培実証
R 6	2	・ 促成いちごにおけるUV-Bランプと天敵製剤の利用による化学農薬削減と作業負担軽減実証